

【全体的な計画】

ウィズチャイルド

聖蹟こどもTERRACE

経営理念		幸せを生み出せる環境づくりに全力で取り組む		保育教育方針		誰もが持っているよりよく生きようとする成長願望を伸ばす援助をする (モンテッソーリ教育)		主な年間予定			
保育目標		豊かな個性を持ち愛と品位に満ちた社会の一員を育てる		特色ある保育・教育		<ul style="list-style-type: none"> ・モンテッソーリ教育の実践 ・和食中心の給食で丈夫な体作り ・自然に親しみ、よく歩く ・豊かな日本語教育と挨拶の重視 		<ul style="list-style-type: none"> ・親子の集い(春・秋) ・保護者会 ・保育参加 			
各年齢毎の保育目標	0歳児		<ul style="list-style-type: none"> * 一人ひとりの子どもの生活リズムや生理的欲求、甘えなどの依存欲求を満たすことで、保育者との基本的信頼関係を築き安定した生活が送れる。 * 子どもの感情や喃語に適切に応えたり、語りかけたりすることで発語の意欲を育む。 * いろいろな食品に慣れ、楽しい雰囲気の中で喜んで食事ができるようにし、離乳食の完了を図る。 		長時間保育配慮						
	1歳児		<ul style="list-style-type: none"> * 保育者との安定した関係の中で、探索活動が十分できるようにし、新たなものへの興味を広げる。 * 好奇心や自分からやりたいという気持ちを育てる。 * 保育者や子ども同士の関わりを通じて言葉の理解や発語を育て、言葉を使うことを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育は日中の保育の連続性を考え遊びを設定する。 ・少人数ならではの環境設定に配慮する。 ・家庭的な遊びを大切にす。 ・照明は全部屋目に優しい電灯を設置 						
	2歳児		<ul style="list-style-type: none"> * 感覚の敏感期に応え、整えられた環境の中で集中する喜びを知る。 * 自己主張を十分に受け止めながら、自我の育ちを助けるとともに生活領域を広げる。 * 簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 * 保育者と一緒に全身を使う運動や、指先を使う遊びを十分楽しむ。 * 興味のあることを模倣したり、経験したりしたことを言葉や動作で表現しようとする。 * 遊びや活動を通じて、興味・関心および友だちとの関わりを広げていく。 		保護者支援						
		保育の内容						育みたい資質・能力 3つの柱			
		0歳児		1歳児		2歳児		<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな体験を通じて、感じたり、気づいたり、分かったり、できるようになったりする 「知識及び技能の基礎」 ・気づいたことや、できることなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする 「思考力、判断力、表現力等の基礎」 ・心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする 「学びに向かう力、人間性等」 			
養護	生命の保持	一人ひとりの生活リズムを尊重する。		養護	生命の保持	保育士との信頼関係を構築する。		食事・排泄・睡眠が意欲的に出来るよう環境構成に気を配る。			
	情緒の安定	母子共生の重要性を配慮する。個々の生理的欲求を満たす。		養護	情緒の安定	保育士とのスキンシップを通して安心感を育てる。行動の表現から気持ちをくみとる。		自分でやりたいという意欲を受容しながら自立の援助をする。			
健やかに伸び伸びと育つ		清潔な環境を好む。はいはいや伝い歩き等の運動をしようとする。		教育	健康	歩行の確立に向け身体を存分に動かすことを好む。		戸外でのびのび体を動かす喜びを味わう反面、細やかな身体の動きにも興味を示す。身支度を自分でしようとする。			
身近な人と気持ちが通じ合う		身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。			人間関係	友達や保育士の名前に興味をもつ。園生活を楽しみ、身近な人と関わる心地よさを感じる。		物のやりとりなどを通して友達との関わり方を体験する。挨拶をする。			
身近なものとの関わり感性が育つ		身の回りに対する興味・関心が芽生える。			環境	好きな教具や遊具に興味を持って関わり様々な遊びを楽しむ。		自然と触れ合う中で好奇心や探究心が生まれてくる。			
食育		個別にゆったり食べる事を通して食に対する意欲が芽生える。			言葉	保育士の言葉を真似たり、片言で気持ちを表現できる。実物に近い絵による絵本の読みかせを楽しむ。返事が出来ることを喜ぶ。		挨拶や返事等コミュニケーションの基礎になる言語活動を楽しむ。絵本を読んでもらうことを繰り返し楽しむ。			
				表現	保育士と一緒に歌ったり手遊びをしたりリズムに合わせて体を動かして遊ぶ。わらべうたに親しむ。		楽器に合わせて歌ったり、リズムに合わせて表現したり粘土や紙で自由に制作することを楽しむ。わらべうたに親しむ。				
				食育	手づかみやスプーンを使って自分で食べることを喜ぶ。		友達と食べる事を通して食事の楽しさを知る。				
衛生管理		毎月職員検便・年1回健康診断・インフルエンザ予防接種(職員)衛生推進者を置く。マニュアルに基づく感染症対策		健康支援		常時看護師による相談・身体測定・健康診断・歯科検診 小児科・婦人科オンラインによる無料相談・メールによる登園許可書の発行		地域との交流			
安全対策		毎月避難訓練(地震想定訓練または火災想定訓練・散歩時緊急連絡訓練)・水防訓練・緊急時想定訓練 ・不審者対応訓練・救急救命訓練・防火防災管理者を置く。 ・電話、一斉メールでの緊急連絡訓練		事故防止		ヒヤリハット・事故簿の確認・睡眠チェック・AEDの設置・訓練		<ul style="list-style-type: none"> ・地域保護者支援の為、一時保育を行う。 ・散歩先での地域の方々との交流 ・地域ネットワーク会議に参加し、地域の情報共有を図る。 			
社会的責任		人権尊重		説明責任		個人情報保護		苦情解決		研修計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・企業主導型保育所は連携企業との「従業員枠」と地域の家庭が利用できる「地域枠」を設ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法・児童憲章などを元に子どもの人権を尊重する。利用者、職員に人権、信条等により差別的扱いをしたり信条等を強制したりしてはならない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・近隣関係・保護者のみならず入所の案内の折にもパンフレット等を利用し保育所の役割と内容は詳しく説明する義務がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所で得た個人情報個人情報は個人情報保護法により外に漏らしてはならない。 ・虐待防止については発見したら通告義務がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・施設長の指示の元、解決した事を書面にし学びにつなげる。 ・ご意見箱の設置。苦情受付の窓口 ・多摩市オンブズマン制度へ加入 ・第三者委員立ち合いでの苦情解決 		<ul style="list-style-type: none"> ・職員個別研修 ・自園研修発表 ・モンテッソーリ教師資格取得 ・保育士資格取得支援 ・キャリアアップ研修 ・防火防災管理者、救急救命講習 	